

ありがとうの思い出

岡 桃子

(元福祉学科教員)

はじめに

皆様ご無沙汰しております。2016年度から福祉学科助教としてお世話になり、退職して1年が経ちました。現在の職場は埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科で、皆様にごフォローいただきながら過ごしております。相変わらず新座キャンパスの目の前に住み、せっかくコミ福の授業も兼任で持たせていただいておりますので、ご無沙汰になりたくなかったのですが、コロナ禍ということもありなかなか皆様と直接ご挨拶する機会がもてず歯がゆいです。見かけた際にはお声をかけていただけますと幸いです。

今回改めまして皆様にご挨拶できる機会をいただき、何を伝えたいかと考えたところ、やはり「感謝」につきるとの思いに至りました。学生時代からの思い出を振り返りながら綴らせていただきます。

1. 学生時代

私はコミュニティ福祉学部にて一期生として入学いたしました。当時、立教に新しい学部ができることと友人から教えてもらい、「コミュニティ」とカタカナが頭に付いているところが魅力的と感じ受験いたしました（それだけが理由ではもちろんありません）。まだ「武蔵野新座キャンパス」時代、1号館左側の外壁に、池袋キャンパスへの憧れからか意図的にからめられた薦も、いまや大きく育ちました。

保育士や幼稚園教諭の道にも惹かれていたため、他大学とコミ福どちらに入学するか迷っていた私が、質問するために事務部にお電話したところ、職員の方が大変あたたかくご対応くださいました。その方は、「林もも子先生という同じ名前の先生も来られることになってますよ」「湯澤直美先生という優しい先生もいらっしゃいますよ」と懸命にコミ福のアピールポイントを伝えてくださいました。その対応のあたたかさに惹かれ、コミ福入学を決意したと言っても過言ではありません。その職員の方が最初に感謝すべき方ということになると今書きながら気づきました。林もも子先生には今でもたびたびのご縁やご相談する機会があり、

嬉しく感謝しております。湯澤直美先生には学生時代から今現在もずっとお世話になっており、感謝のしようもありません。先生が身をもって示しておられる「知った者の責任」として伝えるご努力を尊敬し、私も挑戦し続けます。助手時代ゼミで仙台に連れて行っていただいたことが懐かしく、また連れて行っていただけると嬉しいです。以降、私が立教でお世話になった方々に、出会いの流れに沿って登場していただきます。

基礎演習で担任だった尾崎新先生との個人面談では、「自分の想いを人に伝える勇氣」を私に授けてくださり涙が出ました。その経験から、私は今でも「想いを伝える難しさを知っていることが、対人援助職では強みになるからね」とコミュニケーションに自信を持ってない学生たちに伝え続けています。基礎演習尾崎ゼミで共に学びのスタートを切った岡田哲郎さんは、大学院、助手、助教時代とお世話になり続けている友人で、今も娘の保育園が一緒というご縁です。福山清蔵先生には学部からお世話になり大学院時代もプレイセラピーと一緒に担当させていただき多くのことを学びました。いつも気にかけてくださり自己覚知を促してくださった優しさに、心から感謝しています。箕口雅博先生は、学部～大学院(コミュニティ福祉学研究科人間関係学専攻臨床心理学コース)まで指導教員であり、今もずっと寄り添い続けてくださっています。コミ福の大学院でコミュニティ心理学を学ぶ選択をしたことと箕口先生の応援が無かったら、今の私はないのだとひしひしと感じます。私が学生と関わる姿勢は、無意識に箕口先生から受け継いだもののように思います。ゼミ仲間や友人たちが、この20年間それぞれの道で試行錯誤しながら奮闘し続ける姿も私を励ましてくれています。特に、現場で友人や教え子と出会うと感慨深く喜びもひとしおです。当時の学部長関正勝先生は、卒論メ切で閉まるシャッターを、学生のために体を張って止めていたお姿が心に刻まれています(後で事務部よりお叱りを受けられたかと記憶しております)。その他にも、当時5号館までしかなかったキャンパスでは教職員と学生の距離が近く、お世話になった方々との思い出、お名前は挙げきれません。

2. 実習インストラクター・助手時代

大学院修了時、まだ臨床現場に出る勇氣を持ってない私だったので、ちょうど出ていたコミ福の実習インストラクター募集にトライしました。後に森本佳樹先生からお聞きした話によると、いろいろな幸運が重なり合格したとのことで、そのご縁に驚き感謝しました。皆様懐かしくまたお会いしたいです。同期の大澤朋子先生と鈴木忠義先生や、和秀俊先生、李恩心先生、廣野正子先生は今も支えてく

ださる存在です。新田さやかさん、内山せかいさんは学部同期でもあります。内山ご夫妻は現場時代も連携し、今も学生共々お世話になっています。

コミ福はこの頃、2学科体制、3学科体制へと発展をとげます。他学科の先生方がいらしたことでより一層の多様性を増し、色鮮やかになった印象でした。学部研修会も貴重な経験をいただき本当に楽しかったです。まだ若手であられた石渡貴之先生や石井秀幸先生、河西正博先生を囲むように学科交流の輪も広がり、他学科の皆様にも励まされておりました。学部長であられた橋本正明先生には研修で韓国にも連れて行っていただきました。息子さんの音楽は今も車で私を癒してくれています。クールな外見と優しい心を持ち合わせた学部事務室の三邨寛文さんは、キャンパスの野良猫にまさかつ（初代学部長関先生のお名前）と名付け家族として迎えていました。まさかつは5号館の招き猫でした。教務の松野雅治さんにはキャンパス裏にある松の家のカレーそばの美味しさを教えていただきました。松の家が閉店となり悲しい方は私の他にもたくさんいらっしゃるはずで

この助手時代、児童領域の担当教員としてご指導を賜りました浅井春夫先生、岡田徹先生、芝田英昭先生、湯澤直美先生の背中を見て、いや、伴走していただいて、教員の面白さとやりがいを学びました。その後の私を導く本当に大事な時代だったと思います。心より感謝申し上げます。そしてそれぞれの道へ巣立っていく学生たちとの出会いが、私に現場に出る勇気を与えてくれました。

さて、退職間際の東日本大震災当日の夜、何かできることはないかと5号館に向かった私を待っていたのは、酒瓶とともにロビーで眠る森本佳樹先生でした。帰宅できない学生たちを励ますための森本先生らしい姿だと忘れられません。

3. 現場時代

ようやく現場に出たいと決意した私を受け入れてくださったのは、八王子市子ども家庭支援センターでした。社会福祉士として、子ども相談、子育て相談、児童虐待通告対応に従事し貴重な経験を積ませていただきました。相談員としての仕事が辛い時期にも、コミ福で出会った皆様はいつも私の心の中で、また実際にも、励まし続けてくださいました。また、現場でいっぱいだった私に、皆様は研究の機会も与えてくださいました。どれだけ励みになり、またその後の進路に導いてくださったか…感謝の気持ちでいっぱいです。

学部長であられた浅井春夫先生のさりげない優しさはとても恰好いです。信念を持つことと笑顔の大切さを教え導いてくださり心から感謝しています。調査や卒業旅行にも同行させていただきましたが加計呂麻島は本当に美しかったです。

先ほどから登場してもらっている森本佳樹先生にはこの時代にも大変お世話になりました。いつも見守ってくださり、実直で真心のこもったご指導をいただきました。今も心の中でご報告を続けています。余談ですが、遅い時刻で人気の少ない西国分寺駅のエスカレーターで、一人降りてこられる森本先生と、一人昇っていく私がすれ違い、ご挨拶をしようと、また逆のエスカレーターに互いに乗ってしまい、再度すれ違うという恋愛ドラマのような場面もスローモーションの映像で残っており、忘れられません。エスカレーターではありませんが、新座キャンパスのエレベーターでの出会いのご縁から仲良きさせていただき今も心の支えとなっている加藤千恵先生も感謝を込めてここに記させていただきます。

4. 現場から戻って、助教時代

現場の経験を活かし助教として恩返ししたいとコミ福に戻ってまいりました。同時に娘を授かり、産休中に新座キャンパスの目の前に越してまいりました。皆様があたたかく支えてくださったおかげで、育児と教員職の両立を目指すことができました。実習児童領域を共に担当させていただいた浅井春夫先生、湯澤直美先生、実習室の皆様、産休代替でお越しく下さいました渋谷行成先生、角田慰子先生には、ご指導ご協力をいただいたことに深く感謝します。娘も皆様や学生たちに見守っていただきながら、新座キャンパスを庭として成長しています。

三本松政之学部長、沼澤秀雄学部長には、学部生時代からお世話になりいざという時いつも相談にのっていただいております。コミュニティ福祉研究所の海老原絵梨子さん、大野有加さん、学部事務室の吉野達彦さん、浅野亜由美さん、南任美樹さん、田邊祐子さん、歴代の教務の方々には、たびたびの場面で女神様・仏様のように救われお世話になりました。

助手の立場と異なり、改めて大学教員のやりがいと共に、忙しさ厳しさも痛感します。学科長および実習委員長であられた松山真先生、湯澤直美先生、室長であられた杉山明伸先生、飯村史恵先生、副室長であられた岡田哲郎先生、赤畑淳先生、丸山晃先生には、様々な局面で励まし支えていただき感謝しています。本当はお一人お一人想い出が溢れていますが長くなるので割愛し、また皆様と語り合える日を楽しみにしております。実習室の橋本章子さん、山下沙織さん、ハント礼子さん、水野由美さん、中野純子さん、小宮明子さん、宇田川陽子さんや歴代の皆様の細やかな支えでここまでやってこられました。着任同期の木下武徳先生には度々の貴重なアドバイスを賜り心から感謝しています。同じく同期の富田文字先生とは、埼玉県立大でもご一緒でき、立教当時も今も変わらず温かく接してく

ださって感謝しています。柴崎祐美先生、大山早紀子先生、送別会で共に「山田かつてない Wink」を歌って踊ったこと青春の1頁に刻みました。田中悠美子先生には公私ともに相談に乗っていただき今も頼りにしています。三宅雄大先生には着任早々私の代わりに「映画泥棒」の役を担っていただいたこと、忘れません。

芝田英昭先生には助手時代から本当にお世話になりまして、先生の描かれた優しい絵は離れていても私を励ましてくださっています。平野方紹先生は、送別会で海援隊と一緒に歌ってくださった御恩を忘れません。長倉真寿美先生とは退職前にお電話でお話してきた機会に温かい時間をいただき大変励まされました。結城俊哉先生はいつも若手を気にかけて温かい声をかけてくださいましたこと感謝申し上げます。西田恵子先生にはお忙しい中で研究のご助言を賜りましたことに感謝し今後も活かしてまいります。色々ご相談に乗っていただいた後藤広史先生、平井堅を拝聴できる日を楽しみにしております。跡部千慧先生、安藤佳代子先生、今西平先生、大石和男先生、加藤晴康先生、河東仁先生、奇二正彦先生、北島健一先生、空閑厚樹先生、熊上崇先生、権安理先生、斉藤知洋先生、阪口毅先生、坂無淳先生、佐野信子先生、杉浦克己先生、鈴木弥生先生、原田晃樹先生、原田峻先生、平井太規先生、藤井敦史先生、濁川孝志先生、松尾哲矢先生、ライトナーカトリンユミコ先生、安松幹展先生、山口綾乃先生、委員会や共通の学生を通じてご相談に乗ってくださり感謝申し上げます。

兼任講師として来て下さったり、実習や研究のつながりで出会えた、池田恭子先生、熊谷真弓先生、山田勝美先生、浅井健史さん、片岡志保さん、酒本知美さん、櫻井裕子さん、鈴木勲さん、早川悟司さん、茂木健司さん…多数の方々にもお世話になり続けています。つながりのご縁を下さった先生方に心から感謝申し上げます。そして、素晴らしい学生たちとの出会いはこれからも私の宝物です。

おわりに

改めて、本当に私は運がいい人間だと思います。私をここまで導いた奇跡のような流れは必然だったのだと感じます。皆様との出会いこそが私の運の強さなのです。実は、今回の執筆にあたっては、挙げきれないという決まり文句で諦めず、「お世話になった、出会った方々すべてのお名前だけでもひたすら挙げさせていただく」という案を本気で検討しました。感謝状の意味もありますし、コミュニティ福祉学部との長いご縁の中にある、コミ福にどなたがいらしたのかの歴史を記録として残す意義もあると考えました。しかし紙面の都合からも諦めました。それほど私の中には、新座キャンパスで出会った多くの人々との思い出があふれ、

今の私を形作ってくれているのです。本当に、今の私があるのは、皆様とコミ福のおかげです。改めて、感謝申し上げます。お名前が挙がらなかった方は、暗黙の了解の存在であり、決してお世話になった順位ではないと強調させていただきます。

私にとってホームであるコミ福での思い出と経験が、新天地でも私を励ましてくれています。これからも積み重なっていくであろうコミ福の皆様とのご縁と出会いを、私の手元には、氏名録として詳しい歴史を残し続けていきます。

皆様本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願い申し上げます。